

# 指導資料



鹿児島県総合教育センター

## 国語 第99号

- 小学校，盲・聾・養護学校対象 -  
平成15年11月発行

### 読書活動を取り入れた国語科学習指導

現代は、あふれる情報を取捨選択しながら概括的に幅広く読む力が求められる時代である。換言すると、一つの作品を吟味・精査しながら読んだり、書かれている事柄を適切にとらえて読んだりすることから、自ら分析・検討・判断しながら考察的に読むことへの転換が求められる時代であるとも言える。

また、一方ではメディアの普及や子どもを取り巻く生活環境の変化、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの読書離れの深刻さが指摘されている。

全国学校図書館協議会と毎日新聞社が共同で行った「第48回読書調査（平成14年5月）」によると、1か月に1冊も本を読まなかった子どもは、小学校で8.9%に上る。

このような状況の下、国においては平成13年12月「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布・施行して基本理念を定めるとともに、4月23日を「子ども読書の日」と定めた。翌年8月には、同法に基づく「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定され、家庭、地域とともに学校における読書活動の一層の推進が求められた。特に、学校教育の中でも国語科の学習を通して身に付けた「目的に応じ、内容の中心、要旨など

をとらえながら読む能力や、楽しみながら幅広く読む態度等」を中核に、各教科や総合的な学習の時間などとの連携を図りながら、読書活動を推進することの重要性が叫ばれ始めた。

そこで、本稿では読書活動の取組や背景を探るとともに、小学校国語科の学習指導に読書活動を取り入れた指導上の工夫について述べる。

#### 1 家庭及び学校における読書活動

##### (1) 家庭・地域との連携

本県に古くから根付いている地域と一体となり読書活動に取り組む例としては、「親と子の20分間読書」や緑陰読書の推進、朝読み・夕読み運動などの活動を挙げることができる。中でも親と子の20分間読書は、昭和34年、当時県立図書館長であった棕鳩十氏の提唱で始まったものである。現在、県下約400を越える親子



読書活動の実際

読書会が、読み聞かせなどの活動に取り組んでおり、親子で心の琴線を共有できる場の提供に一

役を担っている。読み聞かせの意義については、小学校低学年から本好きの子どもを育成していくということで、衆目の一致するところである。しかし、小学校中学年以上においても、読み手の言葉を挟まずに読み聞かせをすることで、耳からの読書として位置付けることができる。

## (2) 学校における「読書の時間」の設定

本好きの子どもを育成することなどを目指し、朝の読書の時間を設定する学校が全国的に増加しており、本県でも91.4%の小学校が朝の読書の時間を設定している。(平成15年5月1日調査)

これまでも読書を奨励する様々な方が試みられる中、この朝の読書の時間は、成果を上げた試みの一つである。

このような学校を挙げて取り組む読書活動の流れを受け、国語科では教科学習としての形態や条件を堅持しつつ、基礎的・基本的な読みの力を身に付けさせる学習活動の一環として読書活動を取り入れることが求められている。

例えば、総合的な学習の時間などにおける課題解決学習を円滑に推進させるためには、読書活動を活性化し、効果的な読みの力を身に付けさせる必要がある。もし、短時間に必要な情報を入手する力や事典、辞書の活用能力、目次や索引、参考文献の検索力などが十分身に付かないまま課題解決学習に取り組ませたならば、多大な時間と労力を要することになる。読書する力を育成することは、国語科に課せられた重要な使命であることを再認識したい。

## 2 読書活動を取り入れた国語科学習指導

### (1) 読書活動における指導計画の重要性

小学校学習指導要領国語編では、低学年における読み聞かせなどの読書活動から、高学年における読書発表会に発展する一連の流れを重視している。

この流れは、読解力などの発達段階に応じ、読書活動には質的な高まりが必要であることを示すとともに、小学校6年間を見通した指導計画の必要性を示唆している。国語科の学習活動を通して幅広く読書する力を高めていくためには、意図的、計画的、系統的な指導計画の下、子どもに将来への見通しをもたせることが大切である。

### (2) 指導過程における読書活動の位置付け

読書活動を国語科の学習活動に位置付ける際は、各指導過程との関連性を図ることが必要である。以下は、中種子町立野間小学校 尾崎裕樹教諭の実践を基に作成した各指導過程における展開例である。

#### 導入の過程

子どもの興味・関心を喚起するとともに、課題意識を高める活動を位置付けることが有効である。

具体的な活動には、

|                                |
|--------------------------------|
| 読み聞かせ，比べ読み，ブックトーク，ストーリーテリング など |
|--------------------------------|

が挙げられる。特に、地域や家庭との連携を図った活動を取り入れることは、子どもの読書意欲を喚起することにつながる。例えば、保護者等の外部講師を招い

て読み聞かせを行ったり，既習の教科書教材等の再読を家庭学習に位置付けたりすることが大切である。

#### ブックトーク，ストーリーテリング

ブックトークとは，子どもの読書領域を広げるなどの目的で，同一テーマや同一作家の作品を紹介していく活動である。低学年においては，指人形やペープサートなどとの関連を図りながら行うことが多い。

ストーリーテリングとは，ある一つの話の覚え，絵などの力を借りずに言葉だけで紹介していく活動である。活動させる際は，覚えやすいようライトさせたり，話の構成に気を付けさせるとよい。

#### 追究・深化の過程

追究の過程では，子どもが自ら学習計画や学習課題を立てる活動を位置付け，子ども自身に読書活動の見通しをもたせることが必要である。

深化の過程では，読書活動をより確かなものにするため，指導事項を明確にするとともに，発展学習段階における表現活動との関連を図る必要がある。

具体的には，

重ね読み，比べ読み，並行読書，指定読書，動作化，役割劇 など

が挙げられる。また，ゲーム形式の活動で



比べ読みの活動

ある「アニメーション」を適宜取り入れ，活動を活性化することも有効である。

#### アニメーション

問題を出すアニメーターの進行で，子どもがゲームを解決しながらストーリーや登場人

物の心情を把握していく活動である。単なる遊びにならないよう留意する必要がある。

#### 終末・発展の過程

終末の過程では，これまで読書活動を通して学習してきたことを確認させることが必要である。

発展の過程では，これまで学習してきた教科書教材や教科書教材と類似するテーマの教材及び教科書教材と同じ作家の教材などを読む活動の中に位置付けることが有効である。



具体的には，

#### パネルシアターの実践例

読書新聞づくり，読書紹介（本の帯づくりなど），ブックリストづくり，読書感想文作成 など

が挙げられる。また，これらの活動は，読書発表会や音読発表会を開催して発表したり，紙芝居や人形劇，影絵劇，パネルシアター，ブラックシアター，エプロンシアター，テーブルシアター，スポンジシアターなどとの関連を図って発表したりすることが考えられる。

#### ブックリストづくり

文学的文章教材におけるブックリストの作成は日常的に行われているが，説明的文章教材では難しい。そこで，説明的文章の読み物を集めるために，家庭との連携を図ることが考えられる。例えば，第2学年の説明的文章教材「たんぼのちえ」におけるブックリストづくりでは，「読み物提供のお願い」の文書を家庭に配布して説明的文章の読み物を収集し，学級の一部を「のちえコーナー」として読書環境を整備していくことが有効である。子どもの発達段階に応じつつも，幅をもたせた収集に心掛けたい。

3 読書活動を取り入れた国語科学習の実践例（中種子町立野間小学校 尾崎裕樹教諭の実践を基に作成）

| 1 単元の目標及び観点別評価規準  |  |  |
|---|--|--|
| (1) 単元名等 場面をくらべて読もう<br>（教材「一つの花」4年光村下，「おかあさんの木」大川悦生作，ポプラ社）  |  |  |
| (2) 単元の目標及び評価規準<br>人物の言葉や行動，情景という視点でキーワードになる言葉に着目し，戦争中と戦争後の場面を比べて読もうとする主体的な学習を展開するために，次の目標を設定した。（は単元の重点目標）<br>題名や場面の違いに着目しながら，進んで読み取ろうとする。【関心・意欲・態度】<br>互いの考えの相違点や共通点を考えながら，進んで話し合うことができる。【話すこと・聞くこと】<br>自分が読み取ったことを交流するためにまとめるなど，自分の考えを目的に応じて書くことができる。【書くこと】<br>場面の移り変わりや登場人物の心情を叙述を基に読み取り，それを交流する中でそれぞれの考えに違いのあることに気付くことができる。【読むこと】<br>題名や作品の鍵になる言葉に注目し，作品全体とのかかわりを考えることができる。【言語事項】 |  |  |
| 2 指導計画（全13時間）   |  |  |
|   | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;"> </div> 学習課題 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px; margin-left: 20px;"> </div> 子どもの反応 <div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 2px; margin-left: 20px;"> </div> 重点評価項目（評価方法） |  |
| 過程<br>(時)   | 主な学習活動   | 指導上の留意点  |
| つかむ<br>(3)  | 1 「一つの花」を読み，初発の感想を書く。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「一つの花」を読み，初発の感想を書こう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「かげおくり」と同じように人の願いがこもっているのかなあ。</div>   | 「戦争で死んだ兵士のこと」（2001年，小泉吉宏）の読み聞かせをし，戦争が命を奪うだけでなく人とのつながりも奪っていくことを感じ取ることができるようにする。<br>3年生の学習「ちいちゃんのかげおくり」を想起することで，題名に意味がありそうだという見通しをもつことができるようにする。   |
| 追究する<br>(5)   | 4 場面ごとに読み深める。<br>(1) 場面を確かめ，読みの視点を把握する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">場面ごとに分けて，小見出しをつけよう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">四つの場面に分かれているなあ。これをくらべて読むんだなあ。</div>  | 一学期に学習した「白いぼうし」を想起することにより，読みの視点や表現を意識できるようにする。<br>場面を比べて読む上で，読みの視点（情景描写や人物の言葉，行動という観点からキーワードを取り出す）と，学び方（場面を比べて読む）を理解することができるようにする。   |
| 振り返る・生かす<br>(1)   | 13 学習を振り返る。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">今までの学習を振り返ろう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">題名が意味しているものを深く考えることができたぞ。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">場面をくらべて読むことで，作者の伝えたいことを感じ取ることができたぞ。</div>  | 単元で学習したことの全体を通し，深めた考え方や読む力の高まりを振り返ることができるようにする。<br>ブックリストを基に，今後の読書の在り方について考えることができるようにする。<br><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         ・ 題名の意味を深く読み取ることができるともに，作者の主張を読み取ることができる。<br/>                         （観察，ワークシート）【読むこと】<br/>                         ・ 自分の成長を自覚し，学んだ学び方を生かそうとしているか。（ノート，発話分析）【関心・意欲・態度】                     </div> |

読書とは，本来楽しみながら少しずつ読む量や質を高めていくものである。そして，このような読書を続けることが，将来にわたり主体的な立場で書物を渉猟する姿勢を育成することにつながるのである。しかし，読書による効果を性急に期待するあまり，本を押し

付けたり読書の楽しさを唱えたりするだけでは，主体的な姿勢は育成できない。やはり，子どもと教師が一体となり，様々な活動を通して読書の楽しさを相互に実感する必要がある。国語科学習に読書活動を取り入れる大切さを再認識し，より一層の推進を図ってほしい。

（第一研修室）